



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）8月5日号 No. 1437

目次

■宮城県のロシアビジネスへの挑戦	飯川 斉	1
■クレムリン・ウォッチ:「ロシア外交の優先課題」		5
■トピックス		8
モスクワの生活費、またしても世界一に／		8
ニコンがロシアに販売現地法人を設立／		8
横浜ゴムがロシアに工場建設へ／		9
大阪証取がロシア株価指数に連動／		9
■エトセトラ		9
ロシアで開催される一連の国際経済フォーラムに関するご案内／		9

特別寄稿

宮城県のロシアビジネスへの挑戦

宮城県 経済商工観光部 国際政策課
企画調整班 主幹 飯川 斉

はじめに

宮城県は2008年2月、ニジェゴロド州のニジニノヴゴロド日本センターにおいて同県特産品フェアを開催し、地域の流通業者を招いての個別商談を行った。これは2007年4月に村井・宮城県知事とシャンツェフ・ニジェゴロド州知事の間で締結された「相互協力に関する覚書」の趣旨を踏まえたものであり、2008年10月にはニジェゴロド州政府が宮城県で開催される見本市「ビジネス&テクノ東北2008」に出展する予定である。

そこで今号では、宮城県国際政策課の飯川斉・主幹より寄稿いただいた宮城県のニジェゴロド州との経済交流開拓の試みについて報告する。なお、文中の写真はすべて宮城県（広報課他）の提供によるものである。（編集部）

ニジェゴロド州からのラブコール

なぜ、太平洋側の宮城県がロシアなのか？ 3年前、ロシア事業を命じられた筆者の率直な感想だ。当時、宮城県は国際経済交流に力を入れ出し、実績の出てきた中国事業に次